

# キャリア教育新聞

No. 6

2025年7月  
発行

共創共学  
プラットフォーム  
(塩尻市教育委員会委託事業)

## 市内小中高校の先生を対象に

## 福祉教育担当者研修会を開催

六月十三日、塩尻市社会福祉協議会（以下塩尻市社協）が主催する福祉教育担当者研修会が行われた。この取り組みは先生方とともに子ども達に思いやりの気持ちを育むための「福祉教育」を進めていくきっかけ作りとして毎年一回開催している。研修内容としては、福祉教育に取り組む目的、塩尻市社協職員が実践してきた福祉教育実践プログラムの紹介、社協職員と各学校の先生方による意見交換を行った。

福祉教育では「共に生きていくための力」を育むことを大事にしている。高齢者疑似体験やアイマスク体験のような「不便なこと」を体験するだけでは、当事者の方に対してマインスマな印象を受けてしまいがちになる。そこで、当事者と生徒が対話をする事で自分のできることに気づき、考え、行動していくための力を高めるためのプログラムを企画・実践している。そのためには教育現場の先生方との協働が欠かせないため、今後の福祉教育の推進には先生方との意見交換の繰り返しが必要であると主催者・塩尻市社協の担当者は述べていた。



▲ 研修会の様子

▶ 意見交換の様子



参加した先生の声

初任で、福祉教育がどのようなものかわかっていない所が多かったので、よい機会でした。



参加した先生の声

地域との交流を検討していたのですが、意見交換でアドバイスをいただけことで活動のヒントを得ることができました。



## 共創共学プラットフォームメンバー紹介

### 塩尻市社会福祉協議会

塩尻市社会福祉協議会では「みんなが安心して、しあわせに暮らせる地域づくり」を目指し市内で地域福祉の推進に係る事業や介護保険サービス、障害福祉サービス等様々な取り組みを行っています。また、地域の担い手の育成を目的として福祉教育の推進にも力を入れており、市内の小中高校へ出向き、様々なプログラムを実践しています。

共創共学プラットフォームの取り組みを通して、子ども達により福祉や地域について関心をもってもらえるような活動を今後も展開していきたいと思っております。

### 塩尻市キャリア教育支援協議会

六月五日（木）に、本年度初回となるキャリア教育支援協議会が開催された。今回は任期満了に伴い新委員が出席する中で、新会長に岡崎滋樹氏（松本大学准教授）が選出された。新委員の構成については、産業界が増員（六名から八名）され、各産業分野の実情を学校側へ伝えやすくするとともに、学校との情報交換の中で、学校への支援内容を産業界が具体的に考えやすくするなど、学校と産業界のパイプを強化するねらいをもつものとなった。

#### ◆ お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局（NPO法人MEGURU）  
塩尻市教育委員会事務局学校教育課（0263-52-0280 内線：3112）